平成２９年１０月２３日

職　員　各　位

八代市長　中 村　博 生

平成３０年度予算の編成について

昨年４月に発生した熊本地震から１年半が経過したが、これまで市民の安全・安心と幸せのために、全力で震災対応にあたり、復旧復興に着実に取り組んできたことで、少しずつではあるが、震災前の市民生活を取り戻せていることは、全職員が誠意と熱意を持って、取り組んだ結果であると認識している。

しかしながら、真の意味での震災からの創造的復興を実現するための取り組みは、まだ始まったばかりであり、これを機にさらなる八代の発展につなげていかなければならない。

急激な少子高齢化の進展や人口減少時代を迎え、地方を取り巻く環境は、大変厳しいものがあるが、今回、八代らしい経済発展と暮らしやすさを実現するために、５つの「政策の柱」を掲げたところであり、八代の恵まれた地域資源や歴史文化、また交通の要衝としてのメリットなど、本市の強みを最大限に活用するとともに、国・県との連携を図り、「ふるさと八代」を未来につなげていく取り組みに尽力していく必要がある。

ついては、限られた財源の中で、上記の着実な実行を果たす予算編成が確立できるよう、全職員が高い当事者意識を持ち、弾力的な発想により、既存事業の改善・見直しを思い切って行うなど、職員一丸となって取り組まれたい。